

2024年3月期（2023年度） 第1四半期
決算説明資料

2023年8月

東証スタンダード市場：3423

 株式会社 **エスイー**

1. 2023年度第1四半期 連結決算実績
2. セグメント別の状況

1. 2023年度第1四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

サマリー

前年同期比～減収減益

国内土木市場は引き続き好環境も、建設用資機材の製造・販売事業における現場工程の遅延が継続

（単位：百万円）

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年比	
			増減	（増減率）
売上高	5,608	5,603	▲4	（▲0.1%）
営業利益	213	112	▲101	（▲47.5%）
（対売上高比）	(3.8%)	(2.0%)	（▲1.8%）	
経常利益	222	96	▲125	（▲56.5%）
（対売上高比）	(4.0%)	(1.7%)	（▲2.2%）	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	142	42	▲100	（▲70.4%）
（対売上高比）	(2.5%)	(0.8%)	（▲1.8%）	

・売上高

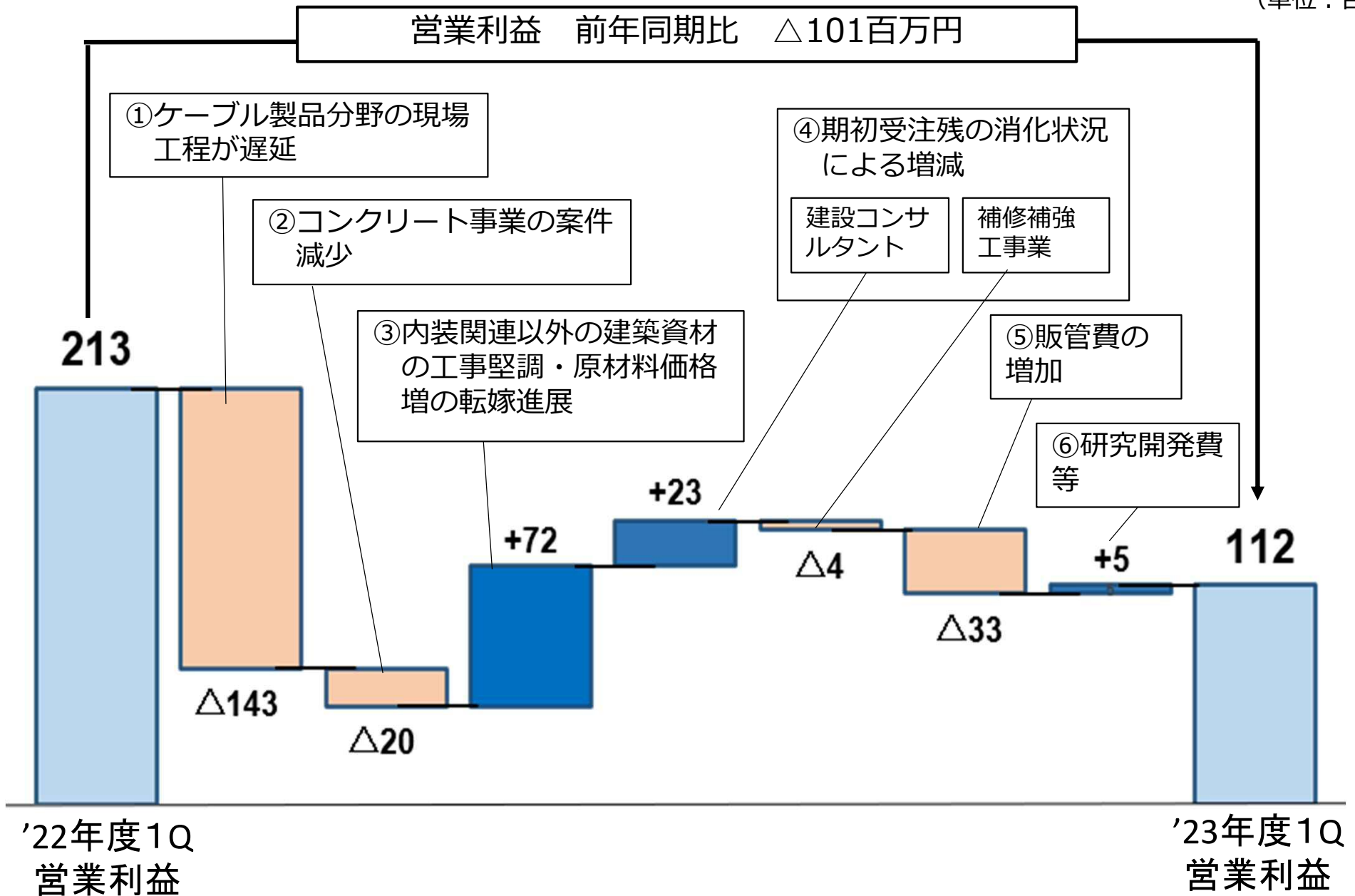
- 建設用資機材の製造販売において、現場工程の遅延が継続。
- 建築用資材の製造販売において、中小規模の案件が高稼働となり順調に推移。
- 建設コンサルタント事業は、現地活動の制限がなくなり案件消化が順調に進捗。
- その結果、全体では前年同期比4百万円の減収。

・利益

- 上記建設用資機材の製造販売の現場工程遅延が主因となり、経常利益は前年同期比126百万円の減益となった。

第1四半期連結決算実績サマリー（営業利益増減） 株式会社 エスイー

（単位：百万円）

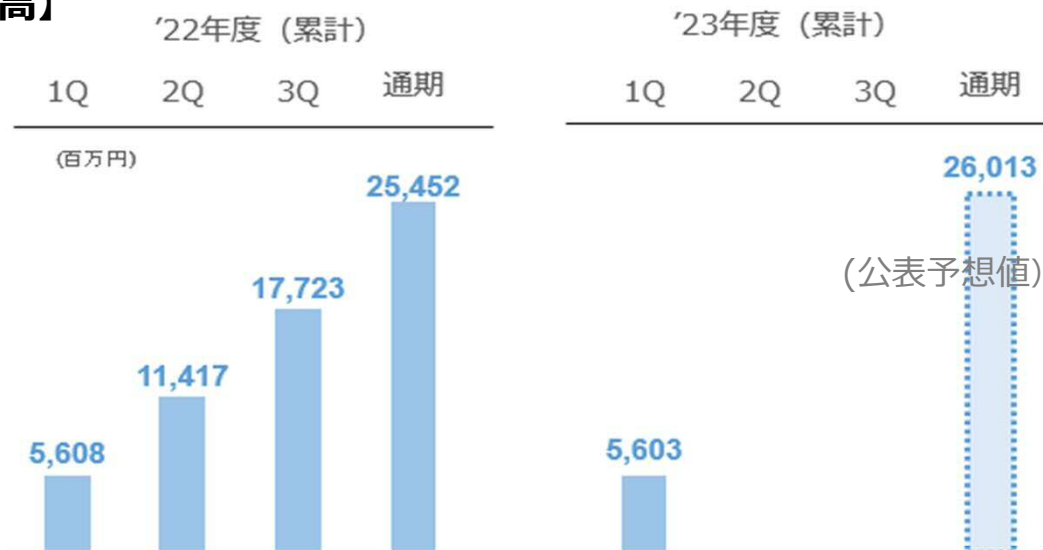


第1四半期連結決算実績サマリー(公表予想比)

サマリー

公表予想比～概ね想定通りの滑り出し、想定外の懸念材料もない
 建設用資機材の現場工程遅延の1Q分の影響は建築用資材の上振れでカバー済み

【売上高】



・売上高

- 建設用資機材において現場工程の遅延が継続しているものの、建築・補修補強でカバー、1Qとしては問題ない滑り出し。
- 建設用資機材の現場工程の遅延は今後も継続するが、3Qより大型案件の納入が本格化する予定であるため、公表予想の達成は問題ないと想定。

【経常利益】



・利益

- 上述の現場工程遅延の影響が大きく前年同期比で利益額減少、利益率低下。
- 原材料価格の上昇分の販売価格への転嫁は、順調に進捗。
- 公表予想値に対する進捗は、前期実績と比較すると低いが、上記の通り下半期より挽回する予想であるため、問題なし。

連結貸借対照表サマリー

サマリー

配当金支払いにより3月末比純資産減少。自己資本比率は微増・D/Eレシオ低下。

(単位：百万円)

資産			負債		
2023年 3月末	2023年 6月末	増減	2022年 3月末	2023年 6月末	増減
25,493	24,279	(主な内訳)	15,065	14,193	(主な内訳)
		△1,250 受取手形、売掛金及び契約資産			△468 支払手形及び買掛金
		△631 現金及び預金			△383 借入金
		+100 原材料及び貯蔵品			+138 その他流動負債
		+279 電子記録債権			△871
					純資産
			2022年 3月末	2023年 6月末	増減
		+130 建設仮勘定	10,428	10,085	(主な内訳)
		+119 その他投資			△392 株主配当金支払い
		△1,214			+42 親会社株主帰属四半期純利益
					△342

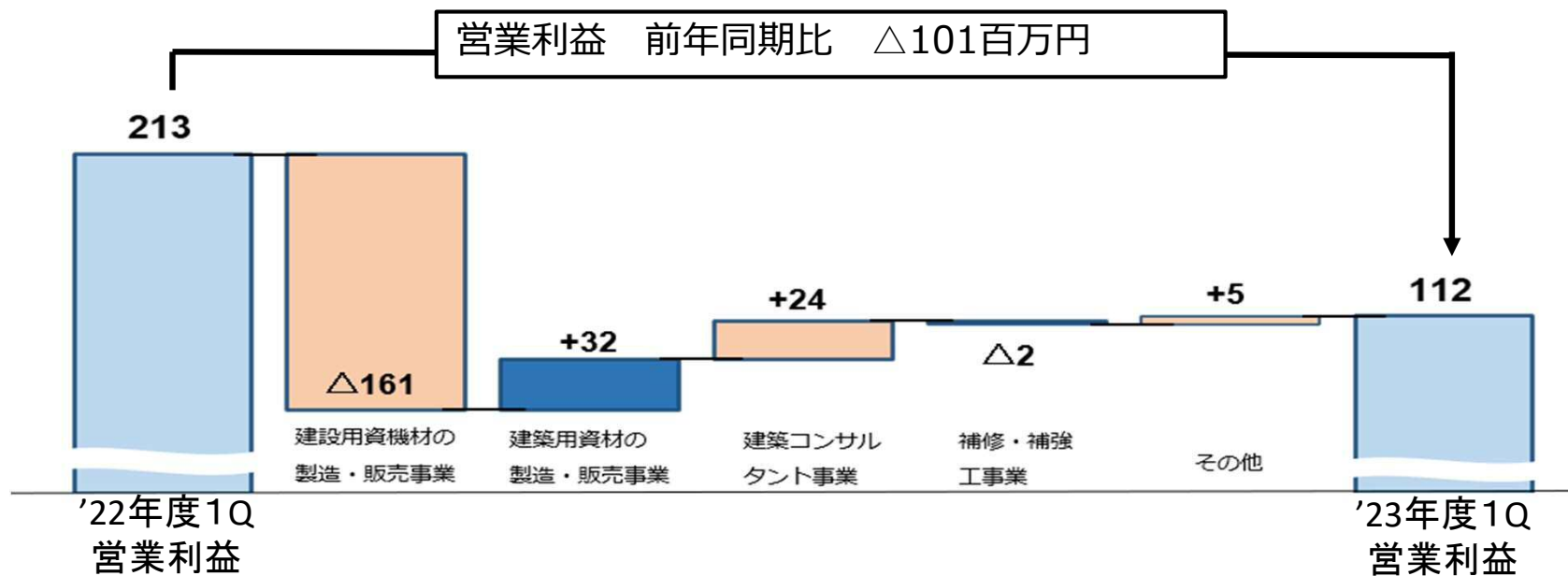
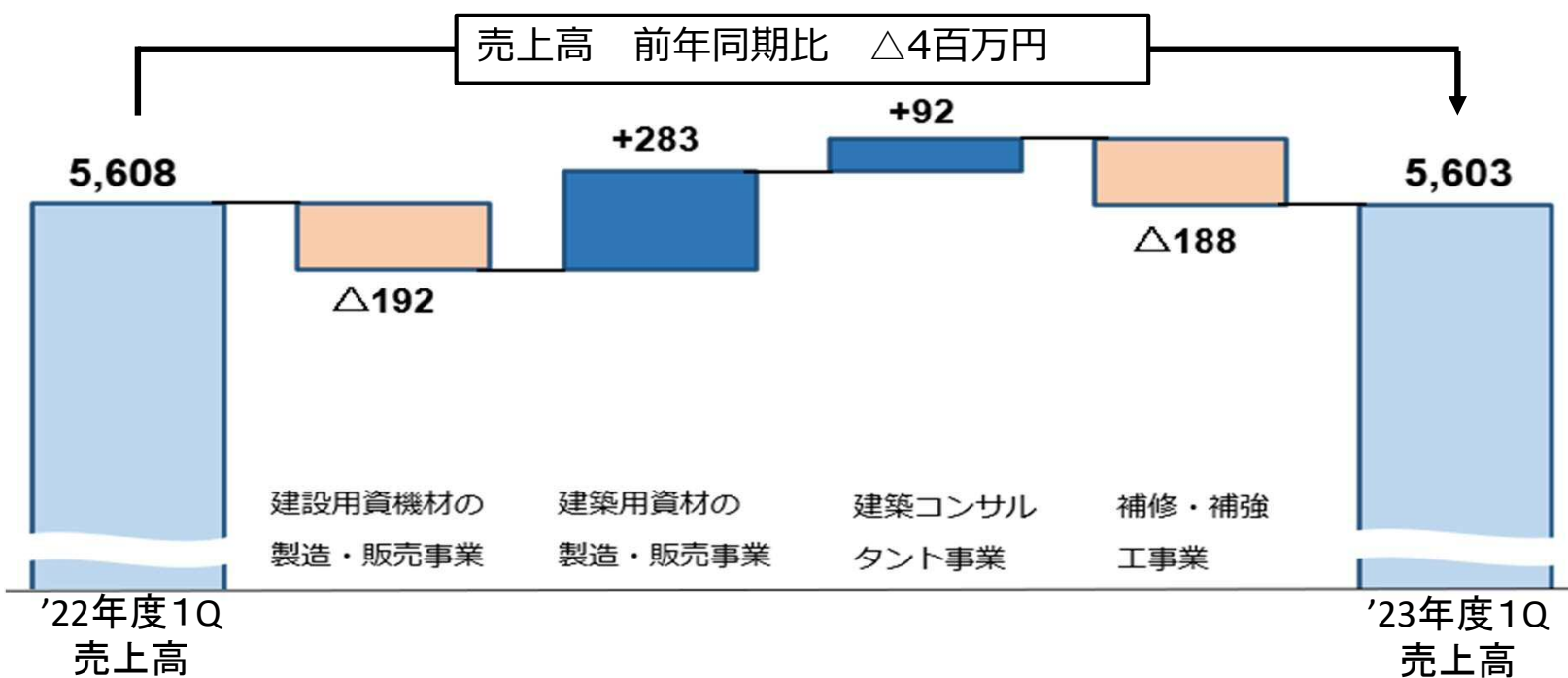
	2023年3月末	2023年6月末	増減
運転資本 (百万円)	5,789	5,406	△382
有利子負債 (百万円)	5,919	5,511	△407
純資産 (百万円)	10,428	10,085	△342
自己資本比率 (%)	40.7	41.4	+0.6
D/Eレシオ (倍)	0.57	0.55	△0.02

1. 2023年度第1四半期 連結決算実績

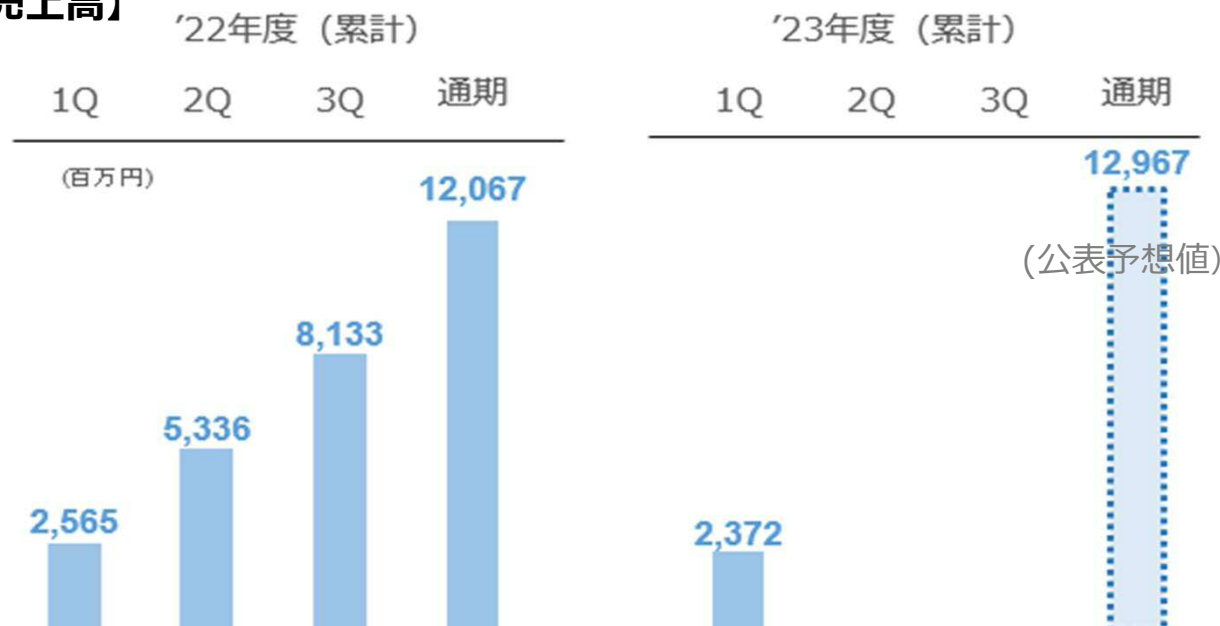
2. セグメント別の状況

セグメント別増減（前年同期比）

(単位：百万円)



【売上高】



○前年同期比～減収減益

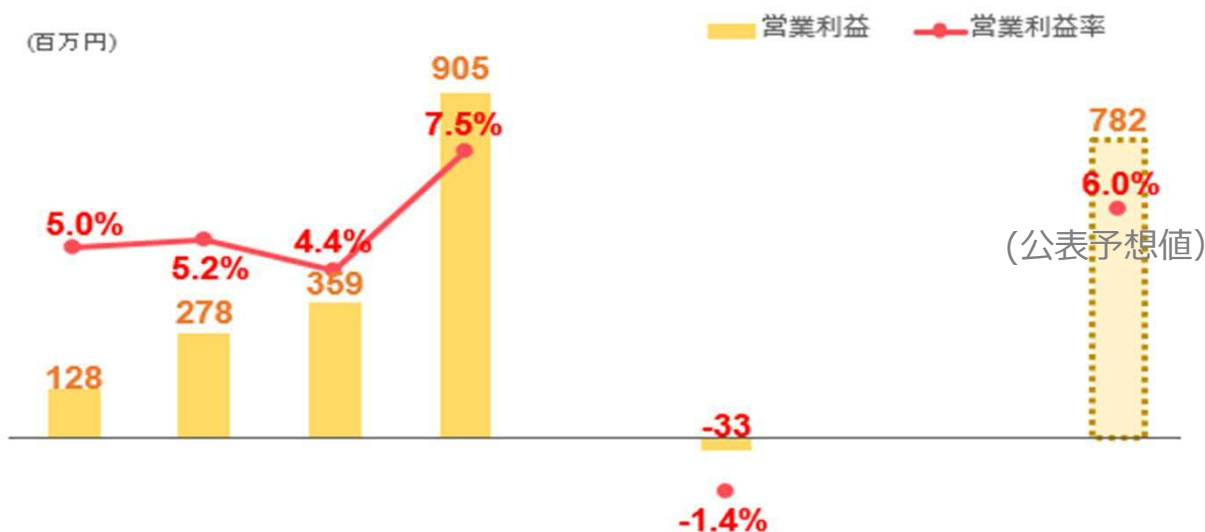
・売上高 (前年同期比△7.5%)

- 前年同期比マイナスのほとんどが、橋梁関連の現場工程遅延によるもの
- コンクリート製品分野は案件の端境期である為、前年度比で工事が減少

・利益 (前年同期は1億28百万円の営業利益)

- 上記減収要因による減益

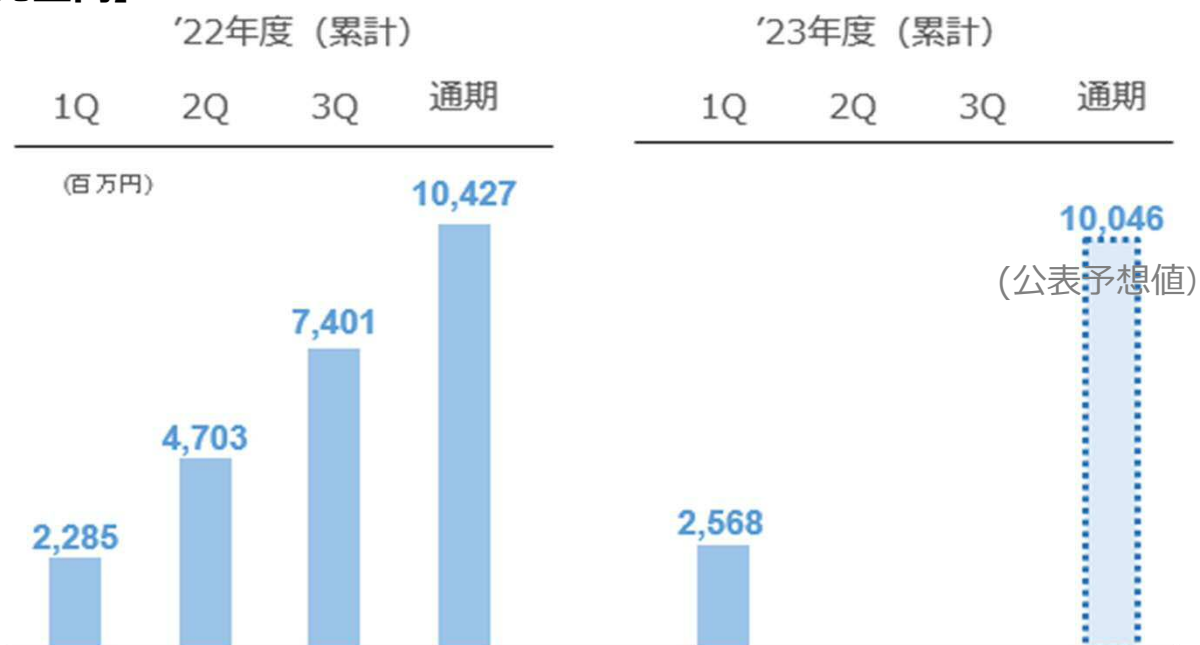
【営業利益】



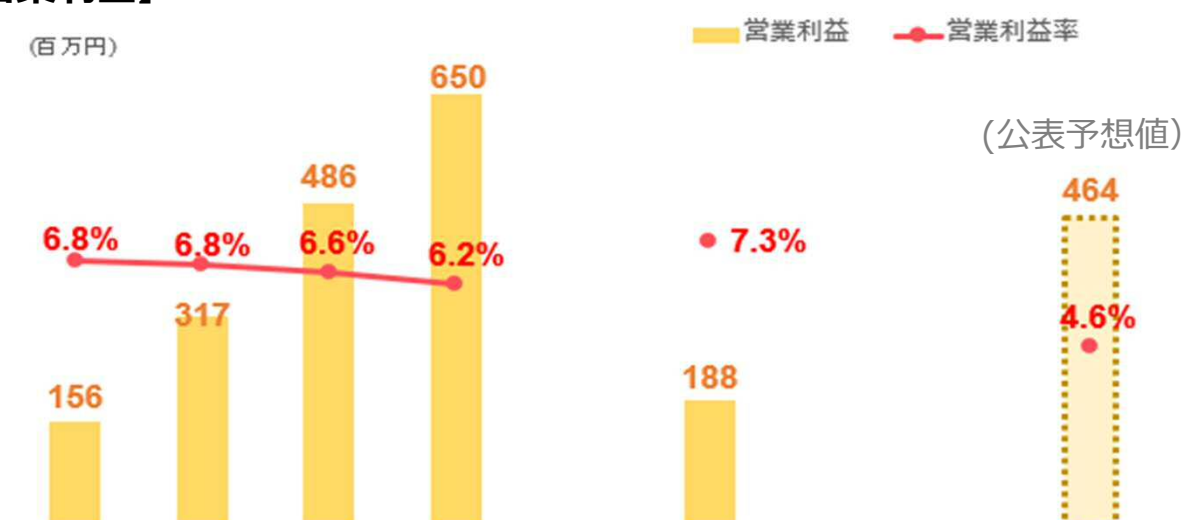
○公表予想比～予想より少し良い滑り出し

- 建材輸出は依然として低調であるが、国内市場に大きな変化は無し
- 大型案件の納入が3Qより本格化するため、下期偏重の予想は変わらず

【売上高】



【営業利益】



○前年同期比～増収増益

・売上高 (前年同期比+12.4%)

- 建築金物分野において、中小物件が高稼働を維持、工事が順調に推移
- 鉄骨工事分野は、繰越案件は前年並みの中、順調に工事が進捗

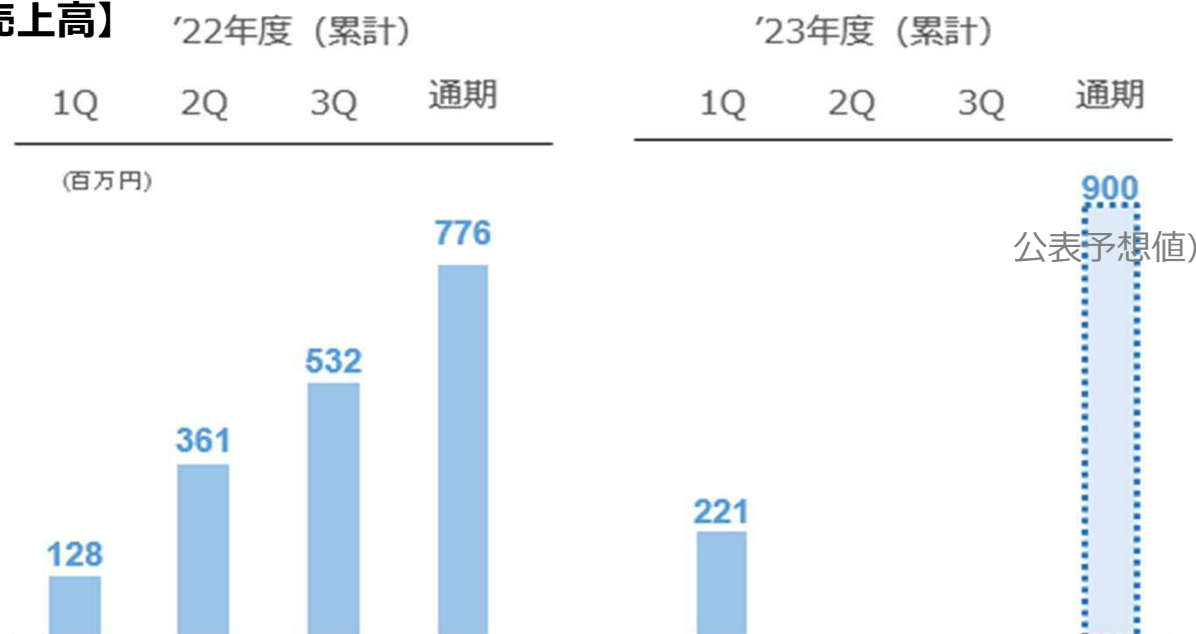
・利益 (前年同期比+20.9%)

- 原材料価格上昇分の価格スライドが認められ、利益率が改善

○公表予想比～順調な滑り出し

- 建築金物分野は価格転嫁の推進を継続
- 鉄骨工事分野は受注案件の消化に注力

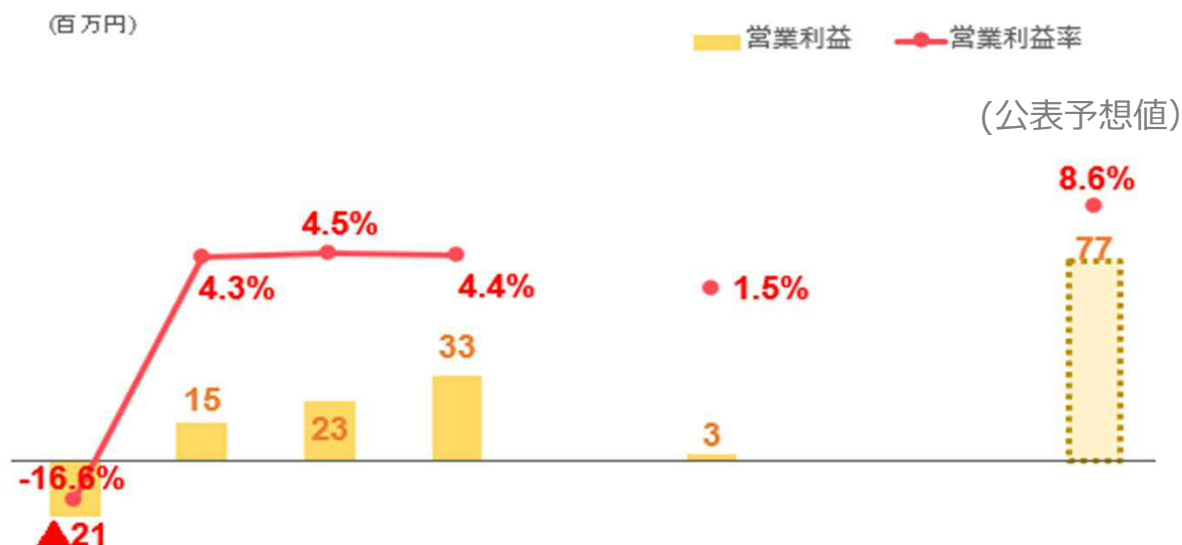
【売上高】



○前年同期比～増収増益

- ・売上高（前年同期比+72.1%）
- ・利益（前年同期は21百万円の営業損失）
 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による現地活動の制限は無し
 - 受注案件が順調に進捗

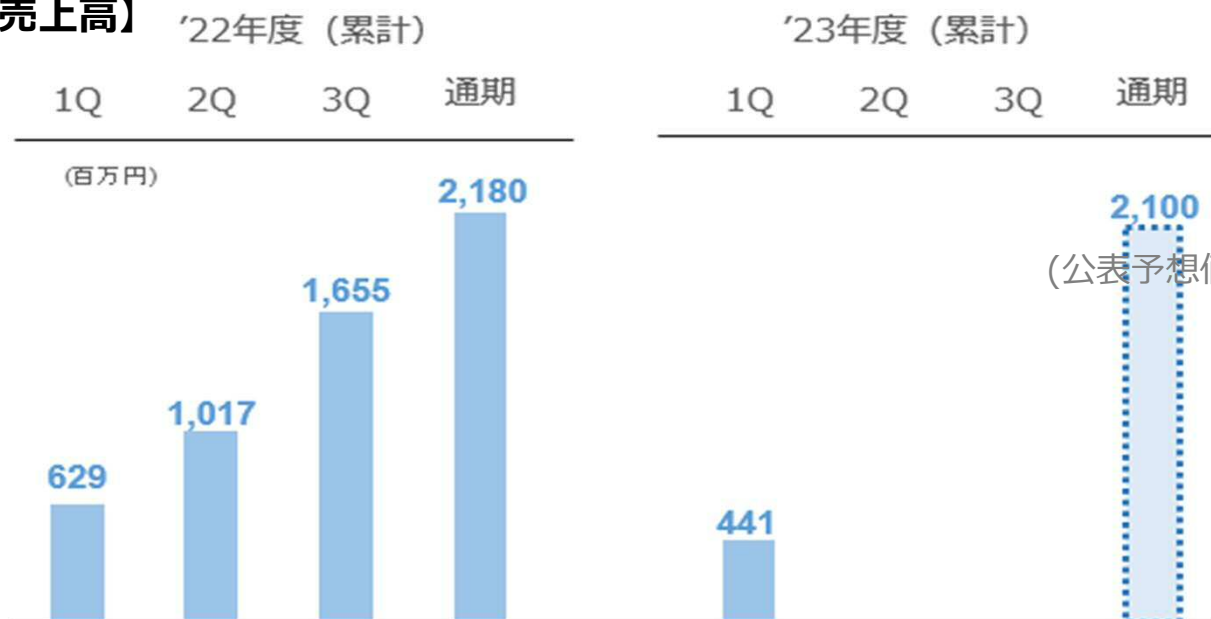
【営業利益】



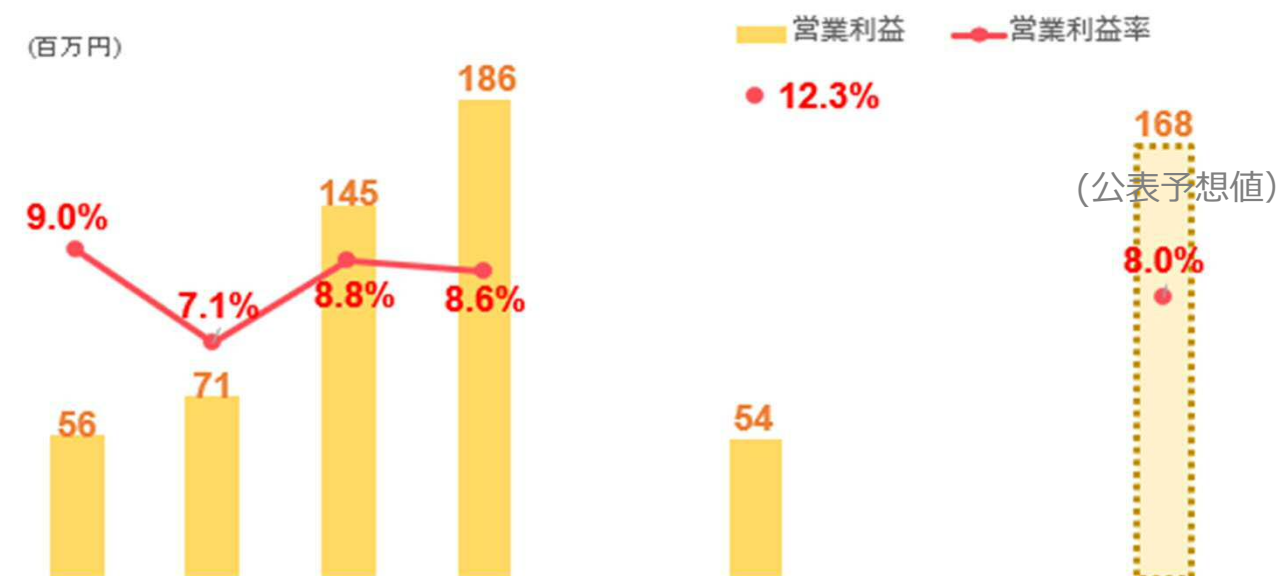
○公表予想比～予定通りの進捗

- 受注案件に遅延が発生しないよう対応を継続
- JICA案件の受注拡大及び新規開拓に注力

【売上高】



【営業利益】



○前年同期比～減収減益

- ・ 売上高 (前年同期比△29.9%)
- ・ 利益 (前年同期比△4.6%)
 - 工事中の案件の再設計や設計見直しが発生し工程が遅延
 - 予定通り進捗している工事の中での増額や利益率の改善が出来たため、利益は売上高増減等と比較し微減に留まった

○公表予想比～予想通りの順調な出だし


- 受注環境は引続き良好で、売上高・利益ともに基本は堅調
- 効率的な配置と期初受注残の確実な消化
- 元請受注への積極的な取り組みを図る

将来見通しに関する記述についての詳細〔ご参考〕

当資料は、あくまで株式会社エスイーをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている当社の分析、業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点で入手可能な情報に基づく見解や将来の業績に係る見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき株式会社エスイーの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの分析・業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

International Engineering Maker

 株式会社 エスイー